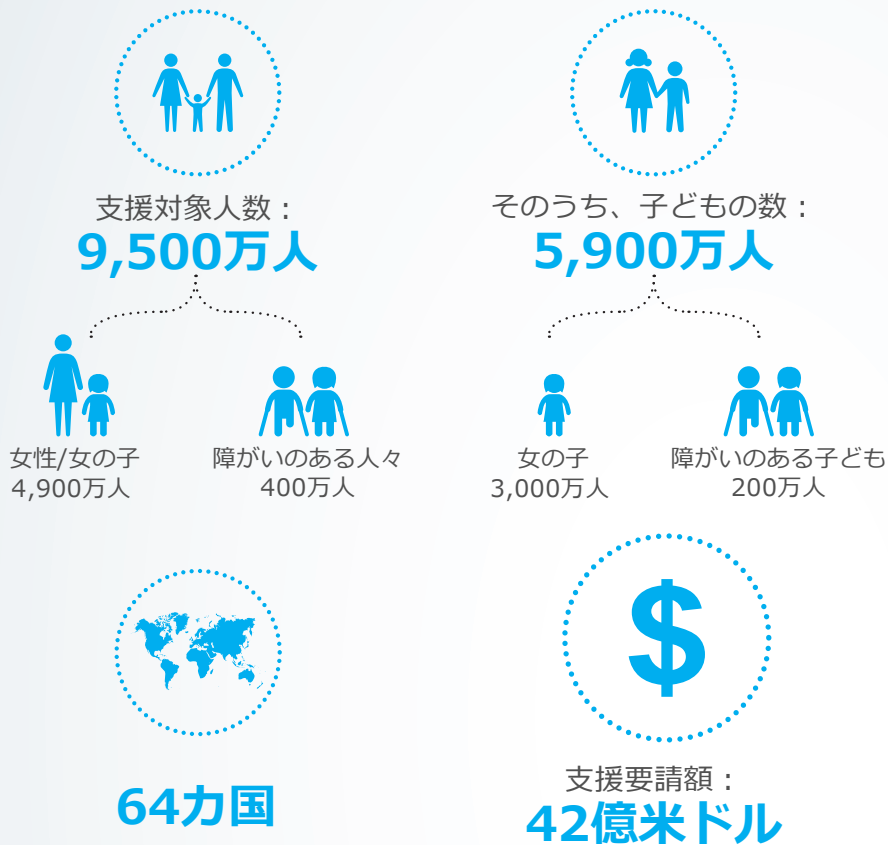


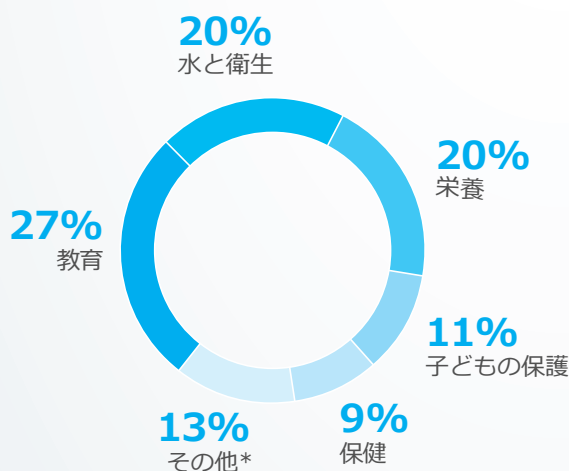
2020年 ユニセフ人道支援計画

『子どもたちのための人道支援報告書（Humanitarian Action for Children - HAC）2020年』より

以下の情報は、ユニセフの人道支援プログラムにおける国際社会への支援要請額、支援を提供すべき人々・子どもの数、および2020年の子どもたちのための人道支援計画の目標をまとめたものです。



分野別資金配分：



*他分野からの調整(例：社会保護、アドボカシー/広報、平和構築)(4%)、地域での備蓄・対応・技術支援(3%)、開発のためのコミュニケーション(2%)、緊急対応システム(1%)、非食糧支援物資(1%)、給付金支援(1%)、クラスター間の調整(<1%)、HIV/エイズの費用を含む。

すべての数値は暫定的なもので、諸機関の最終的なニーズと計画により変更される可能性がある。

ユニセフとパートナー団体の
2020年の主な支援目標：



栄養

510万人の子どもに重度の急性栄養不良の治療ケアを実施



保健

850万人の子どもにはしかの予防接種を実施



水と衛生

2,840万人に安全な飲料水や衛生的環境を提供



子どもの保護

450万人の子どもと保護者に精神保健と心理社会的ケアを提供



緊急時におけるジェンダーに基づく暴力

140万人の子どもと女性にジェンダーに基づく暴力のリスク軽減、予防、対応するための支援を提供



教育

1,020万人の子どもに早期教育を含む公式または非公式教育へのアクセスを提供



給付金支援

170万人に給付金支援プログラムを実施



開発のためのコミュニケーション

4,900万人の危機下にある子どもとおとなに啓発活動やコミュニティを通じて行動を促す

危機下の子どもたち

以下の地図は、2019年末時点での世界における人道的危機、特に子どもたちとその家族に影響を与えている重大な危機を示している。

ウクライナ

ウクライナ東部では、子ども43万人を含む340万人の人々が、5年続く紛争の矢面に立たされ、心と身体の健康を蝕む直接的な脅威と、基本的なサービスへのアクセスの制限に苦しんでいる。



ヨーロッパにおける難民・移民危機

2019年1月～9月上旬の間で、5万7,000人の難民・移民がヨーロッパに到着し、その4人にひとりが子ども。難民・移民の子どもたち、特に単独で移動をしている女の子・男の子は、性的暴力を含む虐待や搾取にあうリスクが高い。



ベネズエラからの人々の流出

ベネズエラでは、前例のないほどの社会経済・政治危機により、国内では約700万人が人道支援を必要としている。2020年には、ラテンアメリカ・カリブ海地域において、子ども190万人を含む650万人が支援を必要とすると見込まれている。



中央サヘル地域（ブルキナファソ、マリ、ニジェール）

中央サヘル地域における不安定な状況と暴力の蔓延によって、人々が自宅を追われる強制移住と人道危機が前例のないほど深刻になっている。5歳未満の子どもたち72万1,000人が重度の急性栄養不良のリスクにさらされている。暴力によって閉校となった学校はこの3年間で6倍に増加。3,000校以上が閉校し、子ども61万人と教師1万5,000人が影響を受けている。



矢印は、紛争による隣国への人々の移動を表す。

本地図の縮尺は調整されており、正確ではない。国境の法的地位に関して、ユニセフとしての何らかの立場を表明するものではない。点線で示されているのは、インドとパキスタンの間で合意された管理ラインである。ジャム・カシ米尔州の最終的な地位については、両者の間でいまだ合意されていない。スーダンと南スーダンの間での最終的な国境は、まだ決定されていない。

シリアと周辺国

紛争が8年続く中、人道的ニーズの規模・深刻度・複雑さは依然として広範囲に及んでいる。シリアの人口の半数以上にあたる約1,100万人が人道支援を必要としている。トルコやレバノン、ヨルダン、イラク、エジプト*などの周辺国では、子ども250万人以上を含む560万人が難民として登録されている。



アフガニスタン

アフガニスタンでは、紛争、自然災害、貧困に起因する人道的ニーズが高まっている。2020年、940万人（そのうち54%が子ども）が人道支援と保護を必要とすると考えられている。



朝鮮民主主義人民共和国

北朝鮮の人道状況は、慢性的な食料不足、命を守る基本的なサービスへのアクセスの欠如、もっとも弱い立場に置かれた人々への深刻な影響が特徴としてみられる。人口の3分の1以上が、安全な飲み水を利用できない。



エボラ対応（コンゴ民主共和国、ブルンジ、ルワンダ、南スーダン、ウガンダ）

コンゴ民主共和国でのエボラ出血熱の発生は、900人以上の子どもを含む3,000人の症例が確認されており、その規模はこれまでで2番目に大きく、紛争地帯におけるものではもっとも大きい。この大流行が、ブルンジ、ルワンダ、南スーダン、ウガンダを含む近隣諸国に波及するリスクが極めて高まっている。



イエメン

紛争勃発から5年が経過する中、イエメンにおける人道危機は世界最大の緊急事態であり、2,400万人以上が人道支援を必要としている。約360万人が国内避難を余儀なくされ、5歳未満の子ども36万8,000人以上が重度の急性栄養不良に苦しんでいる。



ロヒンギャ難民危機（バングラデシュ、ミャンマー）

ミャンマーから逃れ、バングラデシュのコックスバザールで受け入れられたロヒンギャ難民の数は、2019年9月までに91万人以上にのぼり、そのうち73万人は2年以上この地での生活を余儀なくされている。ミャンマーでは、ロヒンギャの子どもや家族は非常に弱い立場に置かれ、約90万5,000人が保護を必要としている。



*国内に受け入れたシリア難民の数が多い順。

2019年 ユニセフ人道支援活動報告

2019年8月31日時点

以下の情報は、2019年の最初の8カ月間で、ユニセフとパートナー団体が行った子どもたちへの人道支援活動の成果の一部をまとめたものです。資金不足（参照：P.11 国別資金調達状況）、不十分な人道アクセス、不安定な治安、活動実施の厳しい環境、パートナー団体の不足、プログラム開始の遅れなどの原因で、支援目標達成が厳しい状況にある分野があります。このような状況の中でも、ユニセフとパートナー団体の財源精査、費用対効果が高く革新的な方法を取り入れたことで、大きな成果を得ることができました。特定の国の指標など、2019年のより詳しい活動報告については、それぞれの国のウェブサイトからご覧いただけます。

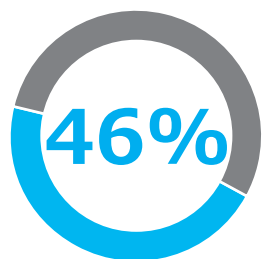
<www.unicef.org/appeals>



栄養

210万人

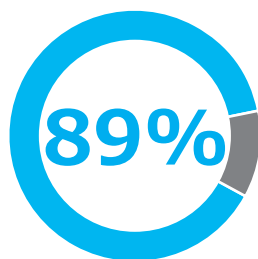
重度の急性栄養不良の治療ケアを受けた子どもの数



保健

2,890万人

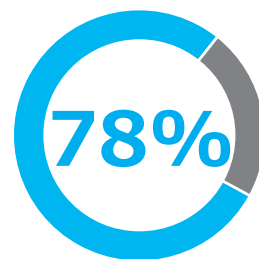
はしかの予防接種を受けた子どもの数



水と衛生

3,220万人

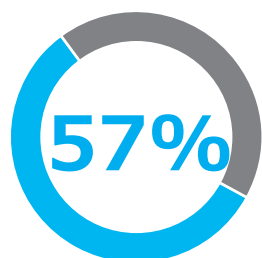
安全な飲料水や衛生的環境を得られるようになった人の数



子どもの保護

260万人

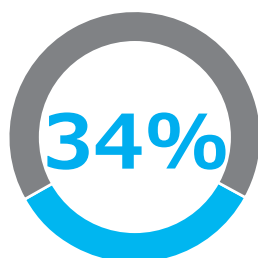
精神保健と心理社会的ケアを受けた子どもと保護者の数



教育

390万人

早期教育を含む公式または非公式教育を受けた子どもの数



給付金支援

85万人

給付金支援を受けた人の数

